

戦略1:イノベーションの創出支援 ～新たな価値の創造に向けた積極的な取組を支援する。～

【戦略の方向性】

- ・社会課題を解決し、持続可能な未来を実現するイノベーションの創出を支援するため、産業振興団体等が連携・協力し、スタートアップ企業等の創出から自立まで切れ目のない支援体制を構築することにより、地域に根ざした創業者の増加を図るとともに、新たな事業が継続して創出される仕組み(エコシステムなど)の構築を目指します。
- ・新事業の創出(創業)や新業態への転換(第二創業)を促進するため、創業機運の醸成に取り組むとともに、起業者同士が相互作用する交流機会の創出を図ります。
- ・若者の市外への流出を防ぎ、市外からの流入増加を図るため、多様で魅力ある企業の集積を促進します。特に、企業オフィス等を中心とした誘致活動に取り組むため、立地適地の創出に向けた調査検討を行います。
- ・事業者間のビジネスマッチングを図る機会の創出や、産学官金連携に関する情報発信を行い、教育研究機関の有する研究シーズとのマッチングを促進することにより、事業者の抱える悩みやニーズの解決を図ります。
- ・産業振興団体等との連携・協力の下、市内で社会実験等に取り組みやすい環境を整え、新しい価値を生み出す好循環を創出します。

KPI(重要業績評価指標)					
指標		基準値	令和5年度～令和7年度	目標値	
				中間 (令和9年度末)	期末 (令和14年度末)
KPI ①	市・商工会議所による創業支援者数	53者 (令和3年度)	326者 (延べ)	325者 (延べ)	650者 (延べ)
	内、創業者数	28者 (令和3年度)	119者 (延べ)	175者 (延べ)	350者 (延べ)
KPI ② (※)	市コーディネータ等の活動による企業対応件数	660件 (平成29年度～ 令和3年度平均)	1,788件 (延べ)	3,300件 (延べ)	6,600件 (延べ)
	マッチング成立件数	40件 (平成29年度～ 令和3年度平均)	77件 (延べ)	225件 (延べ)	450件 (延べ)

(※) 「企業対応件数」 = 市内企業の抱える課題(企業ニーズ)に対応するため、コーディネータが企業や支援機関、大学等への訪問活動等を実施した件数
「マッチング成立件数」 = マッチング対応件数のうち、実際に双方の条件が合致し、マッチングが成立した件数

KPIの進捗状況に対するコメント(事務局)
草津市ビジネスサポートセンター(以下、くさつビズサポ)による専門家相談や創業セミナー、ビジネスカフェや創業支援補助金、創業マルシェの開催など、創業機運の醸成に取り組んだ結果、創業支援者数は326者(令和7年度:109者)となり、中間目標(325者)を上回った。また内、創業者数は119者(令和7年度:35者)となり、順調に進捗した。今後も関係機関と連携しながら、創業希望者への切れ目のない支援を行う。
立命館大学やくさつビズサポに配置するコーディネータ、金融機関等との連携により、市内事業者への訪問活動やビジネスマッチング支援に継続して取組を行ったが、コーディネータが年度途中から欠員になったことや、物価高騰等の社会情勢の影響により、企業対応件数やマッチング成立件数の進捗に遅れが生じている。

施策：１ 創業・第二創業の促進

<施策1の成果>
創業相談や専門家派遣、創業支援補助金、創業セミナー等を通じて、創業希望者に対する総合的な支援を実施しました。その結果、創業支援者数は326者となり、中間目標を上回るまで進捗するなど、創業・第二創業を促進する支援体制の充実が図ることができた。

<施策1の課題>
物価高騰や金利上昇等の影響により、令和7年度の創業支援者数のうちの創業者数は減少している(R6:54者、R7:35者)ことから、状況に応じた、創業に向けた適切な支援策を検討する必要がある。

主な取組事例	概要	実施主体				スケジュール		令和7年度の実績	令和8年度の実績
		産業振興団体	金融機関	教育研究機関	市	計画前期	計画後期		
【重点取組】 ①ビジネス相談窓口の創設による支援体制の強化	創業希望者や中小企業等が抱える課題に対する相談窓口を創設し、創業・第二創業の支援体制を強化します。	◎	○	○	◎			【継続】<予算額:7,728千円><実績額:6,745千円> ・草津商工会議所との共同事業であるくさつビズサポ事業を通じて、創業希望者等の抱えるビジネス上の課題に対する支援を行うとともに、専門家による創業相談をはじめ、創業支援・機運醸成を目的としたイベントやセミナーを開催しました。 ・(継)専門家による創業相談 74回(令和6年度:90回) ・(継)ビジネスカフェの開催 :2回 令和7年6月26日(木)、令和8年2月14日(土) ・(継)創業セミナーの開催:2回 令和7年7月12日(土)～8月23日(土) 令和7年11月9日(日)～12月21日(日)	【継続】<予算額:7,796千円> ・くさつビズサポ事業を通じて、創業希望者等の抱えるビジネス上の課題に対する支援を行うとともに、専門家による創業相談をはじめ、創業支援・機運醸成を目的としたイベントやセミナーを開催します。 ・(継)専門家による創業相談:115回/年 ・(継)ビジネスカフェや事業者交流会の開催:2回(予定) 令和8年6月、令和8年12月(予定) ・(継)創業セミナーの開催:2回(予定) 令和8年7月～8月、令和9年1月～2月(予定)
②産業振興団体等と連携した多面的な創業支援	産業競争力強化法に基づき大津市と共同で策定した創業支援等事業計画を踏まえて、産業振興団体等と連携しながら、各々の特徴と強みを生かした創業支援を実施します。	◎	○	○	◎			【継続】 ・大津市および大学・商工団体・金融機関等の支援機関(15団体)実務担当者での情報共有・連携強化に取り組みました。 【継続】 ・各団体の実施する創業支援制度(創業セミナー、専門家相談、表彰制度等)を集約・共有するとともに、市ホームページ等で発信を通じて創業希望者等への情報発信に取り組みました。 ・団体別・時期別での創業支援制度一覧の更新・公表 【継続】<予算額:3,500千円><実績額:2,745千円> ・創業に関する市の創業支援補助金により、市内の創業者への支援を行いました。 ・補助金交付者数:7者(令和6年度:11者) 【継続】<予算額:40千円><実績額:40千円> ・大津市、立命館大学、龍谷大学と共同で、大学生を対象とした創業機運醸成イベントの企画を行いました。 日時:令和7年4月23日 場所:コミュニティ・バンク京信 瀬田支店 【継続】<実績額:148千円> ・創業に関する独自の補助金(女性チャレンジ支援助成金)により、市内の女性創業者への支援を行いました。 ・補助金交付者数:3者	【継続】 ・大津市および大学・商工団体・金融機関等の支援機関(16団体)実務担当者による情報交換を行い、各団体における取組状況など、団体間の情報共有・連携強化に取り組みます。 ・情報交換会:1回程度(予定) 【継続】 ・各団体の実施する創業支援制度(創業セミナー、専門家相談、表彰制度等)を集約・共有するとともに、市ホームページ等で発信を通じて創業希望者等への情報発信に取り組みます。 ・団体別・時期別での創業支援制度一覧の更新・公表 【継続】<予算額:3,250千円> ・創業に関する市の創業支援補助金により、市内で創業する方への支援を行います。 ・補助金交付決定者数:7者(令和8年7月末時点) 【継続】<予算額:80千円> ・大津市、立命館大学、龍谷大学と共同で、大学生を対象とした創業機運醸成イベントを行います。 日時:令和8年4月22日(水) 場所:UDCみなくさ 【継続】<予算額:250千円> ・創業に関する独自の補助金(女性チャレンジ支援助成金)により、市内の女性創業者への支援を行います。
③創業支援を通じたプロモーションの強化	創業・第二創業の支援を通じ、新たな取組に挑戦しやすいまちとして草津市をブランディングし、市域の発展を促進します。	○			◎			【継続】 ・市ホームページやくさつビズサポの公式ホームページ・SNS等を通じ、市内で創業された方の支援事例や支援制度・イベント情報等の発信を行うことで、創業希望者等に対する情報発信に取り組みます。 ・"くさつビズサポ"HP・SNSでの創業事例紹介件数:12件(令和6年度:12回) 【継続】<予算額:150千円><実績額:150千円> ・創業者やスタートアップ企業等が自身の商品・サービスや活動内容を市民等に知ってもらうことを目的として、草津商工会議所と共同で設置しているくさつビズサポにおいて創業マルシェイベントを開催しました。 ・日時:令和7年9月28日(日) 場所:草津市立総合体育館(国スポ・障スポ会場内)	【継続】 ・市ホームページやくさつビズサポの公式ホームページ・SNS等を通じ、市内で創業された方の支援事例や支援制度・イベント情報等の発信を行うことで、創業希望者等に対する情報発信に取り組みます。 ・くさつビズサポ HP・SNSでの創業事例紹介件数:12件/年 【継続】 ・創業者やスタートアップ企業等が自身の商品・サービスや活動内容を市民等に知ってもらうことを目的として、草津商工会議所が実施しているキラリエマルシェおよび草津商工会議所と共同で設置しているくさつビズサポにおいてビジネスカフェを開催します。 ・キラリエマルシェの開始:令和8年6月、7月、10月、12月、2月(予定) ・ビジネスカフェや事業者交流会の開催:令和8年6月、令和8年12月(予定)

施策：２ スタートアップ企業等の集積促進

<施策2の成果>
新たな産業用地の創出に向け「草津市産業用地創出に向けた具体的な取組」を取りまとめるとともに、イノベーション集積拠点の創出に向けた事業化検討パートナーを選定するなど、企業立地の実現に向けた取組を進めることができた。

<施策2の課題>
新たな産業用地の創出やイノベーション集積拠点の創出を着実に進めるため、関係機関との連携を強化しながら具体的な事業化を進める必要がある。

主な取組事例	概要	実施主体				スケジュール		令和7年度の取組実績	令和8年度の取組
		産業振興団体	金融機関	教育研究機関	市	計画前期	計画後期		
【重点取組】 ④企業オフィス等の立地適地の創出	ICT企業等をはじめとした企業オフィス等の立地適地の創出に向けた調査検討を行います。				◎			【継続】 ・市街化調整区域における地区計画制度の見直しや農業用ため池の活用など、新たな産業用地の創出に向けた検討を進めるとともに、「草津市産業用地創出に向けた具体的な取組」を取りまとめました。 【継続】 ・新産業の創出に向けたイノベーション集積拠点の創出を目指し、施設の必要機能や事業採算性、実現可能性を検討するため、「事業化検討パートナー」を選定しました。	【継続】<予算額:5,291千円>(債務負担行為:8,700千円) ・高付加価値を生み出す産業集積エリアの形成に向けて、御倉町外地先において整備計画の検討や地権者アンケートを実施するとともに、農業振興地域整備計画との調整や地域未来投資促進法に基づく市基本計画の策定可能性を検討します。 【継続】 ・イノベーション集積拠点の創出に向けて、事業化検討パートナーとの検討を継続するとともに、立地適正化計画との整合を図りながら整備方針を策定します。また、起業家育成プログラムや地域企業との共創、実証実験への支援などを通じて、スタートアップの集積に向けた機運醸成に取り組みます。
⑤公的インキュベーション施設入居企業等への支援	立命館大学BKCインキュベータへの入居企業に対する入居費料の支援を行うとともに、公的インキュベーション施設退去後の市内立地を促進します。	○			◎			【継続】<予算額:3,322千円><実績額:2,315千円> ・立命館大学BKCインキュベータ入居企業に対する家賃補助を通じ、新事業創出に取り組む事業者の支援に取り組みました。 ▶補助金交付者数:12者(令和6年度:13者) ※支援期間:5年間 【継続】<予算額:1,920千円><実績額:420千円> ・公的インキュベーション施設を退去し、市内で事業展開を図ろうとする事業者に対する家賃補助を通じ、企業の市内立地を促進に取り組みました。 補助金交付者数:1者(令和6年度:3者) ※支援期間:3年間	【継続】<予算額:2,503千円> ・立命館大学BKCインキュベータ入居企業に対する家賃補助を通じ、新事業創出に取り組む事業者の支援に取り組みます。 ▶補助金交付決定者数:8者(令和8年7月末時点) 【継続】<予算額:185千円> ・公的インキュベーション施設を退去し、市内で事業展開を図ろうとする事業者に対する家賃補助を通じ、企業の市内立地を促進に取り組みます。 ▶補助金交付決定者数:1者(令和8年7月末時点)
⑥起業家同士の交流機会の創出	オープンイノベーションを促進するため、産業振興団体等と連携し、起業家同士のネットワーク構築に向けた取組を検討します。	◎	○	○	◎			【再掲】 【継続】<予算額:7,728千円><実績額:6,745千円> ・草津商工会議所との共同事業であるくさつビジネスラボ事業を通じて、創業希望者等の抱えるビジネス上の課題に対する支援を行うとともに、専門家による創業相談をはじめ、創業支援・機運醸成を目的としたイベントやセミナーを開催しました。 ・(継)専門家による創業相談:74回(令和6年度:90回) ・(継)ビジネスカフェの開催:2回(令和7年6月26日(木)、令和8年2月14日(土)) ・(継)創業セミナーの開催:2回(令和7年7月12日(土)～8月23日(土)、令和7年11月9日(日)～12月21日(日))	【再掲】 【継続】<予算額:7,796千円> ・くさつビジネスラボ事業を通じて、創業希望者等の抱えるビジネス上の課題に対する支援を行うとともに、専門家による創業相談をはじめ、創業支援・機運醸成を目的としたイベントやセミナーを開催します。 ・(継)専門家による創業相談:115回/年 ・(継)ビジネスカフェや事業者交流会の開催:2回(予定)(令和8年6月、令和8年12月(予定)) ・(継)創業セミナーの開催:2回(予定)(令和8年7月～8月、令和9年1月～2月(予定))

施策：３ 多様な主体との連携の促進

<施策3の成果>
立命館大学やくさつビスサポに配置するコーディネータ、金融機関等と連携し、市内事業者のニーズに応じたビジネスマッチング支援を実施するとともに、市内をフィールドにした社会実験を支援するなど、多様な主体との連携による新たな価値の創出に取り組むことができた。

<施策3の課題>
物価高騰や賃金上昇、海外情勢等の不安要素の影響により、マッチング成立件数の進捗に遅れが生じていることから、社会情勢を見極めながら、適した支援策を検討する必要がある。

主な取組事例	概要	実施主体				スケジュール		令和7年度の実績	令和8年度の実績
		産学振興団体	金融機関	教育研究機関	市	計画前期	計画後期		
⑦事業者間ビジネスマッチングの創出	本市の配置するコーディネータによる訪問活動等を通じて、事業者の抱える課題やニーズの解決に向けたビジネスマッチング支援を行います。	◎	○	◎	◎			【継続】<予算額:7,843千円><実績額:7,367千円> ・立命館大学とくさつビスサポに配置するコーディネータや滋賀銀行等の関係機関と連携した訪問活動等を通じて、市内事業者のニーズに応じた事業者間のビジネスマッチング支援に取り組みました。 ▶延べ活動件数:556件／事業者間マッチング対応件数:53件／成立件数2件 (令和6年度:559件／56件／17件)	【継続】<予算額:7,947千円> ・立命館大学とくさつビスサポに配置するコーディネータや滋賀銀行等の関係機関と連携した訪問活動等を通じて、市内事業者のニーズに応じた事業者間のビジネスマッチング支援に取り組みます。
⑧産学官金連携による新たな価値の創出	産学官金連携に関する情報発信を行うとともに、事業者の抱える課題やニーズと教育研究機関の有する研究シーズのマッチング支援を行います。	○	○	◎	○			【再掲】<予算額:7,843千円><実績額:7,367千円> ・立命館大学とくさつビスサポに配置するコーディネータや滋賀銀行等の関係機関と連携した訪問活動等を通じて、市内事業者のニーズに応じた事業者間のビジネスマッチング支援に取り組みました。 ▶延べ活動件数:556件／事業者間マッチング対応件数:53件／成立件数2件 (令和6年度:559件／56件／17件)	【再掲】<予算額:7,947千円> ・立命館大学とくさつビスサポに配置するコーディネータや滋賀銀行等の関係機関と連携した訪問活動等を通じて、市内事業者のニーズに応じた事業者間のビジネスマッチング支援に取り組みます。
⑨社会実験等への協力支援	産学振興団体等と連携し、社会課題の解決や新たな事業の立ち上げに係る社会実験等に対するサポートを行います。	○	○	○	◎			【継続】 ・立命館大学の研究シーズを用いた社会実験に対し、市内事業者等と連携・協力しながら取組のサポートを行い、具体的に市内をフィールドにした実証実験の支援を行いました。 ・(新)立命館大学発・草津市発スタートアップ企業の実証実験支援 概要:単に動くだけでなく、人と共に学び、適応し、成長することのできる技術「KRM」を搭載したロボットの実証実験を支援しました。 内容:安全性と社会受容性の確認を行うために、令和8年度上半期において、草津宿場まつりおよび市役所庁舎というフィールドを使った実証実験の実施に向けたサポートを行いました。	【新規】<予算額:5,000千円> ・地域内外の企業等多様な主体との連携を図り、スタートアップの初期段階における社会実装に向けた新しい技術やサービスの実証実験に対する支援を行います。 ▶補助金交付決定者数:6者

【戦略の方向性】

- ・事業者が抱える様々な経営課題を解決し、経営安定化や事業拡大に取り組む事業者を支援します。また、経営者の高齢化や廃業等により培われた技術やノウハウ、雇用が失われることのないよう、第三者承継も含めた事業承継を支援し、経営資源の円滑な引継ぎを促進します。
- ・若者や女性、高齢者、障害者、外国人など、多様な人材が市内事業者への雇用へとつながり、満足して暮らせるよう、関係機関と連携した人材確保等支援を行い、多様な人材が活躍し定着するまちを目指します。
- ・市内事業者におけるDXの推進ならびにDXを活用する人材の育成・定着等による生産性向上に向けた取組を促進します。
- ・学校と産業界の連携により、小中学校等の児童生徒を対象としたキャリア教育を推進します。
- ・戦略的な企業誘致やインキュベーション施設入居企業等への支援を行い、企業の立地・集積を促進します。

KPI(重要業績評価指標)					
指標		基準値	令和5年度～令和7年度	目標値	
				中間 (令和9年度末)	期末 (令和14年度末)
KPI ③	支援制度の活用による企業の施設更新件数および 市内立地件数	4者 (平成29年度～ 令和3年度平均)	7者 (延べ)	25者 (延べ)	50者 (延べ)
KPI ④	中小企業者・小規模事業者の事業計画策定および 伴走支援件数	24件 (令和3年度)	78件 (延べ)	120件 (延べ)	240件 (延べ)
	内、売上増加件数(前年比)	8件 (令和3年度)	28件 (延べ)	60件 (延べ)	120件 (延べ)

KPIの進捗状況に対するコメント(事務局)
くさつビズサポのコーディネータを通じた企業訪問時の制度案内などを継続して実施したが、令和7年度の指定決定は1件だった。中間目標の達成に向けた進捗としては遅れが生じていることから、産業用地が不足している課題を踏まえて、新たな産業用地の創出に向けた取組を強化していく必要がある。
事業計画策定支援や伴走支援を継続して実施した結果、令和5年度から令和7年度までの累計伴走支援件数は78件となり、支援件数は着実に積み上がっているものの、社会情勢の影響等から、売上増加件数は28件となっていることから、販路拡大等の売上増加につながる支援を一層強化する必要がある。

施策：１ 関係機関との連携によるサポート体制の強化

<施策1の成果>

草津商工会議所等の関係機関との連携により、市内事業者の販路開拓を支援するため、展示会等への出展支援や商談機会の創出に取り組むとともに、「草津ブランド」の認証・情報発信を推進し、市内製品のブランド力向上と販路拡大を図ることができた。

<施策1の課題>

事業承継の橋渡し件数が0件であることから、黒字倒産を防いでいくためにも、事業承継を必要とする事業者に対して、関係機関につなげる取組等を強化する必要がある。

主な取組事例	概要	実施主体				スケジュール		令和7年度の実績	令和8年度の実績
		産業振興団体	金融機関	教育研究機関	市	計画前期	計画後期		
【重点取組】【再掲】 ①ビジネス相談窓口の創設による支援体制の強化	創業希望者や中小企業等が抱える課題に対する相談窓口を創設し、創業・第二創業の支援体制を強化します。	◎	○	○	◎			【再掲】 【継続】<予算額：7,728千円><実績額：6,745千円> ・草津商工会議所との共同事業であるくさつbizサポ事業を通じて、創業希望者等の抱えるビジネス上の課題に対する支援を行うとともに、専門家による創業相談をはじめ、創業支援・機運醸成を目的としたイベントやセミナーを開催しました。 ・(継)専門家による創業相談 74回(令和6年度：90回) ・(継)ビジネスカフェの開催 2回 令和7年6月26日(木)、令和8年2月14日(土) ・(継)創業セミナーの開催：2回 令和7年7月12日(土)～8月23日(土) 令和7年11月9日(日)～12月21日(日)	【再掲】 【継続】<予算額：7,796千円> ・くさつbizサポ事業を通じて、創業希望者等の抱えるビジネス上の課題に対する支援を行うとともに、専門家による創業相談をはじめ、創業支援・機運醸成を目的としたイベントやセミナーを開催します。 ・(継)専門家による創業相談：115回/年 ・(継)ビジネスカフェや事業者交流会の開催：2回(予定) 令和8年6月、令和8年12月(予定) ・(継)創業セミナーの開催：2回(予定) 令和8年7月～8月、令和9年1月～2月(予定)
②販路開拓の支援	産業振興団体等と連携し、商談会等への出展サポートを通じた販路開拓支援や商業施設等における販売促進に取り組めます。	◎	○		○			【継続】 ・県内中小企業(製造業)と県内外の企業とのビジネスマッチング会(商談会)を開催し、受注機会拡大と新規取引先開拓に向けた支援を行いました。 ・主催：(公財)滋賀県産業支援プラザ 共催：㈱日本政策金融公庫、草津市、草津商工会議所 日時：令和7年7月23日(水)・24日(木) 場所：キラリエ草津 参加企業数：発注企業：49社 受注企業：67社 商談件数：217件 (令和6年度：発注企業：49社 受注企業：64社 商談件数：222件) 【継続】<予算額：930千円><実績額：707千円> ・SNSでの発信および首都圏等での認証品のプロモーションイベントの開催や認証品を活用した商品開発支援等を通じ、草津ブランドの(PR)販路開拓を行いました。 ・主催：草津ブランド推進協議会 日時：令和7年7月2日(土)～8日(火) 場所：市内のキャンペーン参加各店 内容：草津メロンの一週間。 ・主催：草津ブランド推進協議会 日時：令和7年9月12日(金) 場所：エイスクエア 内容：スイーツ・マルシェ	【継続】 ・県内中小企業(製造業)と県内外の企業とのビジネスマッチング会(商談会)を開催し、受注機会拡大と新規取引先開拓に向けた支援を行いました。 ・主催：(公財)滋賀県産業支援プラザ 共催：㈱日本政策金融公庫、草津市、草津商工会議所 日時：令和8年7月23日(木)・24日(金) 場所：キラリエ草津 【継続】<予算額：930千円> ・SNSでの発信および首都圏等での認証品のプロモーションイベントの開催や認証品を活用した商品開発支援等を通じ、草津ブランドの(PR)販路開拓を行います。 ・主催：草津ブランド推進協議会 日時：令和8年6月27日(土)～7月5日(日) 場所：市内のキャンペーン参加各店 内容：草津メロンの一週間。 ・主催：草津ブランド推進協議会 日時：令和8年11月14日(土)・15日(日) 場所：滋賀県立琵琶湖博物館 内容：スイーツ・マルシェ
③資金調達の支援	小規模事業者小口簡易貸付制度の運用やセーフティネット保証の認定を行うとともに、各種融資制度について分かりやすい情報発信を行います。	○	◎		○			【継続】 ・セーフティネット5号は全国的に業況の悪化している業種に属する中小企業者の資金繰りの支援措置を行う制度で、一般保証とは別枠の信用保証が利用可能となります。 市にて、対象中小企業者の減取認定を行うことで、売上高等が減少している中小企業者を支援いたしました。 ・セーフティネット5号認証数…24件(令和6年度：34件)	【継続】 ・引き続き、対象中小企業者の認定を通じて、売上高等が減少している中小企業者を支援いたします。 ・セーフティネット5号認証数…3件(令和8年7月末時点)
④事業承継の支援	事業承継を希望する中小企業等が必要な支援を受けられるよう、必要な情報発信を行うとともに、産業振興団体への橋渡しを行います。	◎	○		○			【継続】 ・立命館大学とくさつbizサポに配置するコーディネータによる訪問活動等を通じ、事業承継を考える企業と支援機関(滋賀県事業承継・引継ぎ支援センター)との橋渡しを試みましたが、実績はございませんでした。 ・橋渡し件数：0件(令和6年度：0件)	【継続】 ・立命館大学とくさつbizサポに配置するコーディネータによる訪問活動等を通じ、事業承継を考える企業と支援機関(滋賀県事業承継・引継ぎ支援センター)との橋渡しを行います。 ・橋渡し件数：0件(令和8年7月末時点)

施策：２ 多様な人材の活躍促進

＜施策2の成果＞

国・県や産業振興団体等と連携し、市内事業者に向けた多様な人材の就労促進の情報発信を行うとともに、市内小中学校と企業が連携したキャリア教育を実施することができた。また、受入協力企業数は増加し、児童生徒の職業体験や企業との交流機会の充実につなげることができた。

＜施策2の課題＞

中小企業等の人材不足が深刻化する中、採用活動や人材確保に関する具体的な支援を充実させ、関係機関と連携し、多様な人材の確保・定着につながる取組を推進する必要がある。

主な取組事例	概要	実施主体				スケジュール		令和7年度の実績	令和8年度の実績
		産業振興団体	金融機関	教育研究機関	市	計画前期	計画後期		
⑤多様な働き手の活躍促進	多様な人材が働く意欲や希望に応じて活躍できるよう、国・県等と連携しながら、啓発等に取り組めます。	○			◎			【継続】＜予算額:10,509千円＞＜実績額:9,969千円＞ ・市内事業所内での公正な採用選考や就職差別などの人権課題の早期解決に向けた取組として、草津商工会議所および草津公共職業安定所とともに、市内事業所等への啓発活動を行いました。 ▶訪問・啓発対象事業所数:312事業所(令和6年度:313事業所) 【継続】＜実績額:1,082千円＞ ・女性の社会進出を支援するため、女性のチャレンジ応援塾「起業リテラシーアップ講座」を開催しました。 ▶日程:8月5日、9月2日、10月7日、11月4日 ・受講者:29名 【継続】 ・女性のチャレンジ応援塾の受講生を対象に、県等が実施する、出店準備セミナーや子育て期を応援する合同企業面接会、補助金の案内等、多様な働き方に関する情報配信に取り組みました。	【継続】＜予算額:10,165千円＞ ・市内事業所内での公正な採用選考や就職差別などの人権課題の早期解決に向けた取組として、草津商工会議所および草津公共職業安定所とともに、市内事業所等への啓発活動を行います。 ▶訪問・啓発対象事業所数:313事業所 【継続】＜予算額:1,125千円＞ ・女性の社会進出を支援するため、女性のチャレンジ応援塾「起業講座」を開催し、女性の起業家育成に取り組めます。 ▶日程:6月16日、7月7日、7月28日、8月18日、9月8日、9月29日、10月20日 【継続】 ・起業塾受講者等を対象に、県等が実施する、女性の創業に関する相談やセミナー、在宅ワークセミナーや子育てママの働き応援など、多様な働き方に関する情報配信に取り組めます。
⑥児童生徒等のキャリア形成の促進	将来の社会的・職業的自立に向けて、市内の小中学校等と企業の連携により、児童生徒のキャリア形成に取り組めます。	◎		◎	○			【継続】＜予算額:49千円＞＜実績額:49千円＞ ・草津商工会議所との連携・協力協定に基づき、情報交換を行いました。また、市内中学校の教員と地域企業との連携に関するチャレンジウィーク事業推進協議会を実施し、共通理解を図りました。 ・職業講話講師を長年していただいている方からメッセージを入れた、小中学校への職業講話および職場体験学習の受入れ企業募集のチラシを作成し、草津商工会議所を通じて会員や関係事業所に配布していただき、キャリア教育に関する学習の受入れ企業を増やす取り組みを、連携・協力しながら実施しました。 ▶職場体験学習実施中学校数:6校(令和6年度:6校) ▶受入協力企業数(合計):381 事業所(令和6年度:343事業所)	【継続】＜予算額:57千円＞ ・草津商工会議所との連携・協力協定に基づき情報交換を行うとともに、小中学校の教育分野、とりわけキャリア教育の推進と企業活動の活性化を促進します。 ・市内教員と草津商工会議所との情報交換会を実施し、職場体験実習の受入れや、職業に関する講話等、連携をさらに拡充できるよう取り組みを推進します。 ▶職場体験学習実施中学校数:6校(令和8年6月末時点)
⑦関係機関と連携した人材確保等の支援	人材確保を希望する中小企業等を支援するため、産業振興団体が実施する就職説明会等に関する情報を集約し、情報発信を行います。	◎			○			【継続】 ・国や県などが開催する就職に関する説明会や講習会等の情報を集約し、市ホームページを通じて情報発信を行いました。	【継続】 ・国や県などが開催する就職に関する説明会や講習会等の情報を集約し、市ホームページを通じて情報発信を行います。 【新規】＜予算額:720千円＞ ・中小企業等に支援するための、補助金制度(奨学金返還支援補助金、人材確保支援補助金)策定を行います。

施策：3 DXの実現に向けたデジタル化の促進

<施策3の成果>

中小企業等のDX推進に向けたセミナーや相談支援を実施するとともに、新たに女性向け講座「Web・ITツールを使った今どき働き術セミナー」を開催し、女性のデジタルスキル習得を支援するなど、多様な人材の活躍促進や地域のDX人材育成に向けた取組を推進することができた。

<施策3の課題>

草津市DX人材育成支援補助金を事業者が利用しやすい制度へ見直すとともに、制度の周知や伴走支援を充実させるなど、補助金の活用促進を図る必要がある。

主な取組事例	概要	実施主体				スケジュール		令和7年度の実績	令和8年度の実績
		産業振興団体	金融機関	教育研究機関	市	計画前期	計画後期		
⑧DX化に向けたマッチング支援	中小企業等のDX化を促進するため、導入を検討する企業とITベンダー等のマッチングを支援します。	◎	◎		◎			【継続】 ・企業のDX化の促進に向けた情報発信に取り組むとともに、DXについて高い専門性を有する民間企業・団体等による支援を結びつける仕組み「滋賀県DX官民協創サロン（滋賀県・滋賀銀行・関西みらい銀行が運営）」への橋渡しを行うなど、希望する企業と関係先とのマッチング支援に取り組みましたが、成立には至りませんでした。	【継続】 ・企業のDX化の促進に向けた情報発信に取り組むとともに、DXIについて高い専門性を有する民間企業・団体等による支援を結びつける仕組み「滋賀県DX官民協創サロン（滋賀県・滋賀銀行・関西みらい銀行が運営）」への橋渡しを行うなど、希望する企業と関係先とのマッチング支援に取り組みます。
⑨デジタルツールの導入支援	事業所内での業務効率化や生産性向上を目的とした、デジタルツールの導入を支援します。	○			◎			【継続】 ・企業のDX化の促進に向けた情報発信に取り組むとともに、立命館大学とくさつビズサポに配置するコーディネータや滋賀銀行等の関係機関と連携し、希望する企業における国・県等の補助制度の活用支援に取り組みましたが、デジタルツールの導入には至りませんでした。	【継続】 ・企業のDX化の促進に向けた情報発信に取り組むとともに、立命館大学とくさつビズサポに配置するコーディネータや滋賀銀行等の関係機関と連携し、希望する企業における国・県等の補助制度の活用支援に取り組みます。や滋賀銀行等の関係機関と連携し、希望する企業における国・県等の補助制度の活用支援に取り組みます。
⑩デジタル人材の育成支援	事業所内におけるデジタル人材の育成支援等を行い、DX化等に対応するITリテラシーの向上や新たな価値の創出、業務改革等を促進します。	○			◎			【継続】<予算額：1,500千円><実績額：0千円> ・市内の中小企業者等のDX推進を目的として、事業所内におけるDX人材の育成、強化、底上げ等に向けた取組に対する支援（補助金）を取り組みましたが、草津市DX人材育成支援補助金の活用には至りませんでした。 ▶制度名：草津市DX人材育成支援補助金 ▶補助金交付決定者数：0者 【新規】<実績額：100千円> ・女性の経済的自立を支援するため、内閣府の定めるデジタル人材育成の一環として、女性向け講座「WebITツールを使った今どき働き術セミナー」を開催しました。 ▶日程：令和8年1月16日、1月23日、1月30日 ▶受講者：28名	【新規】<予算額：3,000千円> ・市内の中小企業者等のDX推進を目的として、事業所内におけるDX人材の育成、環境整備の強化等に向けた取組に対する支援（補助金）を行います。 ▶補助金交付決定者数：3者（令和8年7月末時点） 【継続】<予算額：90千円> ・起業や就業に役立つデジタルツールの活用方法について学べる女性向け講座を開催します。

施策：４ 戦略的な企業立地・集積の促進

<施策4の成果>

市内立地支援制度による設備投資等への支援を実施するとともに、企業オフィス等の立地適地の創出に向け、「草津市産業用地創出に向けた具体的な取組」を取りまとめることができた。

<施策4の課題>

企業立地・集積のさらなる促進に向け、新たな産業用地の創出に向けた取組を着実に進めるとともに、事業の周知啓発および市内への立地支援制度の活用をさらに促進する必要がある。

主な取組事例	概要	実施主体				スケジュール		令和7年度の実績	令和8年度の実績
		産業振興団体	金融機関	教育研究機関	市	計画前期	計画後期		
⑪企業の立地集積に向けた設備投資等の支援	市内における企業誘致・立地集積を促進し、新たな雇用の創出と税収の増加を図るため、新たな事業所等の整備に対する支援を行います。				◎			【継続】<予算額:18,946千円><実績額:18,553千円> ・新たな設備投資(工場の新築等、労働生産性向上に資する設備導入)を行う企業に対し、税制支援等を行いました。 ・工場の新築等に伴う助成金交付企業数:5者(令和6年度:6者) ※支援期間:5年 ・うち企業立地促進助成事業者指定決定件数:1者(令和6年度:4者) ・労働生産性向上設備の導入企業数:9者(令和6年度:12者) ※支援期間:3年 【新規】<予算額:871千円>(債務負担行為:9,000千円)(実績額:8,800千円) ・市街化調整区域における地区計画制度の見直しや農業用ため池の活用など、新たな産業用地の創出に向けた検討を進めるとともに、「草津市産業用地創出に向けた具体的な取組」を取りまとめました。	【継続】<予算額:17,476千円> ・新たな設備投資(工場の新築等、労働生産性向上に資する設備導入)を行う企業に対し、税制支援等を行います。 ・工場の新築等に伴う助成金交付企業数:6者(予定) ・うち企業立地促進助成事業者指定決定件数:1者(令和8年7月末時点) ・労働生産性向上設備の導入企業数:0社(令和8年7月末時点) 【継続】(予算額:5,291千円)(債務負担行為:8,700千円) ・高付加価値を生み出す産業集積エリアの形成に向けて、御食町外地先において整備計画の検討や地権者アンケートを実施するとともに、農業振興地域整備計画との調整や地域未来投資促進法に基づく市基本計画の策定可能性を検討します。
【重点取組】【再掲】 ⑫企業オフィス等の立地適地の創出	ICT企業等をはじめとした企業オフィス等の立地適地の創出に向けた調査検討を行います。				◎			【再掲】 【継続】 ・市街化調整区域における地区計画制度の見直しや農業用ため池の活用など、新たな産業用地の創出に向けた検討を進めるとともに、「草津市産業用地創出に向けた具体的な取組」を取りまとめました。 【継続】 ・新産業の創出に向けたイノベーション集積拠点の創出を目指し、施設の必要機能や事業採算性、実現可能性を検討するため、「事業化検討パートナー」を選定しました。	【再掲】 【継続】(予算額:5,291千円)(債務負担行為:8,700千円) ・高付加価値を生み出す産業集積エリアの形成に向けて、御食町外地先において整備計画の検討や地権者アンケートを実施するとともに、農業振興地域整備計画との調整や地域未来投資促進法に基づく市基本計画の策定可能性を検討します。 【継続】 ・イノベーション集積拠点の創出に向けて、事業化検討パートナーとの検討を継続するとともに、立地適正化計画との整合を図りながら整備方針を策定します。また、起業家育成プログラムや地域企業との共創、実証実験への支援などを通じて、スタートアップの集積に向けた機運醸成に取り組めます。
【再掲】 ⑬公的インキュベーション施設入居企業等への支援	立命館大学BKCインキュベータへの入居企業に対する入居料の支援を行うとともに、公的インキュベーション施設退去後の市内立地を促進します。	○			◎			【再掲】 【継続】<予算額:3,322千円><実績額:2,315千円> ・立命館大学BKCインキュベータ入居企業に対する家賃補助を通じ、新事業創出に取り組む事業者の支援に取り組みました。 ・補助金交付者数:12者(令和6年度:13者) ※支援期間:5年間 【継続】<予算額:1,920千円><実績額:420千円> ・公的インキュベーション施設を退去し、市内で事業展開を図ろうとする事業者に対する家賃補助を通じ、企業の市内立地を促進に取り組みました。 ・補助金交付者数:1者(令和6年度:3者) ※支援期間:3年間	【再掲】 【継続】<予算額:2,503千円> ・立命館大学BKCインキュベータ入居企業に対する家賃補助を通じ、新事業創出に取り組む事業者の支援に取り組みます。 ・補助金交付決定者数:8者(令和8年7月末時点) 【継続】<予算額:185千円> ・公的インキュベーション施設を退去し、市内で事業展開を図ろうとする事業者に対する家賃補助を通じ、企業の市内立地を促進に取り組みます。 ・補助金交付決定者数:1者(令和8年7月末時点)

【戦略の方向性】

- ・2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、事業者による環境に配慮した取組を支援します。
- ・観光地域づくりを通じた魅力ある地域イメージや地域資源を磨き上げ、人・企業にとって「魅力あふれるまち」を目指します。
- ・本市ならではの賑わい創出を目指し、商工会議所などの商工団体に対する支援や、空き店舗を活用した魅力店舗の誘致を行い、地域特性を生かしたまちを創出します。
- ・本市の特徴である、「住みやすさ」に加えて「働きやすさ」も向上し、自らが望む形で働き方を選択できるまちを目指す。

KPI(重要業績評価指標)					
指標		基準値	令和7年度	目標値	
				中間 (令和9年度末)	期末 (令和14年度末)
KPI ⑤	愛する地球のために約束する協定者数 (「草津市気候非常事態宣言」賛同者数)	54者 (令和3年度)	63者	85者	110者
KPI ⑥	観光入込客数(日帰り・宿泊客)	220.7万人 (令和3年度)	304.0万人	330.2万人	349.0万人

KPIの進捗状況に対するコメント(事務局)
市内事業者への協定勧奨の案内送付のほか、令和7年度より開始した「草津市・省エネ・再エネ等設備導入加速化補助金」の交付条件に「愛する地球のために約束する協定を草津市と締結すること」を組み込んだことにより、前年度から8者増加した。一方で、中間目標の達成に向けては、さらなる協定者数の拡大に取り組む必要がある。
滋賀県において国スポ・障スポが開催されたことが起因となり、昨年度から16.1万人の増加となったが、増加が一過的なものではなく、継続的に観光入込客数の増加につながる取組を進める必要がある。

施策：１ ゼロカーボンシティの推進

<施策1の成果>

新たに「省エネ・再エネ等設備導入加速化補助金」を創設し、市内の中小企業者等に対し省エネ・再エネ設備の導入費用を補助することで、設備投資を通じて温室効果ガス削減を図ることができた。

<施策1の課題>

セミナーやビジネスマッチング等の機会を活かし、省エネ補助金制度の周知啓発を行い、補助金申請者数や愛する地球のために約束する協定の新規協定者数を増加させる必要がある。

主な取組事例	概要	実施主体				スケジュール		令和7年度の実績	令和8年度の実績
		産業振興団体	金融機関	教育研究機関	市	計画前期	計画後期		
①国・県等の支援制度の集約と情報発信	事業者におけるゼロカーボンに向けた取組を促進するため、国・県等の提供する支援制度の集約や必要な情報発信を行います。				◎			【継続】<予算額:7,843千円><実績額:7,367千円> ・事業者が活用可能な支援制度を市ホームページ等で発信するとともに、立命館大学とくさつビズサポに配置するコーディネータや滋賀銀行等の関係機関と連携した訪問活動等を通じ、支援制度の案内やサポートに取り組みましたが、事業者によるゼロカーボン等の取組につながる案件はありませんでした。 【継続】<予算額:211千円><実績額:105千円> ・愛する地球のために約束する協定者、草津市地球冷やしたい推進協議会員に対し、環境に関するセミナーやイベント、補助制度についての情報を定期的に発信しました。 ▶草津市地球冷やしたい推進協議会(愛する地球のために約束する協定者を含む)会員数74者 【新規】<予算額:11,000千円><実績額:6,966千円> ・「令和7年度草津市省エネ・再エネ等設備導入加速化補助金」を実施し、省エネルギー設備・再生可能エネルギー設備の導入に要する費用の一部を補助することにより、市内の中小企業者等における省エネのさらなる取組を促進しました。 ▶制度名:省エネ・再エネ等設備導入加速化補助金 ▶補助金交付決定件数:9件	【継続】<予算額:7,947千円> ・事業者が活用可能な支援制度を市ホームページ等で発信するとともに、立命館大学とくさつビズサポに配置するコーディネータや滋賀銀行等の関係機関と連携し、事業者によるゼロカーボン等の取組を促進します。 【継続】<予算額:209千円> ・愛する地球のために約束する協定者、草津市地球冷やしたい推進協議会員に対する情報発信を行います。 ▶草津市地球冷やしたい推進協議会(愛する地球のために約束する協定者を含む)会員数74者(令和8年7月末時点) 【継続】<予算額:9,900千円> ・「令和8年度草津市省エネ・再エネ等設備導入加速化補助金」を実施し、省エネルギー設備・再生可能エネルギー設備の導入に要する費用の一部を補助することにより、市内の中小企業者等における省エネのさらなる取組を促進します。 ▶制度名:省エネ・再エネ等設備導入加速化補助金 ▶補助金交付決定件数:0件(令和8年7月末時点)
②事業者の取組事例の共有と交流機会の創出	事業者が行う地球温暖化対策などの環境に関する取組事例等を発信するとともに、事業者間の交流機会の創出により、新たなネットワークの構築に取り組みます。	◎			◎			【継続】<予算額:40千円><実績額:30千円> ・事業者の環境意識の向上と地域の環境課題の解決を図ることを目的として、先進的な取り組みを進めておられる事業所の事例紹介や企業活動における環境問題への取組についての話題提供に関するセミナー等を開催しました。 ▶主催:草津市、草津商工会議所環境保全対策委員会 日時:令和7年11月26日(水) 場所:キラリエ草津 参加者数:15名 【継続】<予算額:5,610千円><実績額:5,610千円> ・環境にやさしい週間(7月初旬)に合わせ、主に草津市民・団体等を対象に環境保全に関する話題提供や実践例を紹介する講演会を実施しました。 ▶日時:令和7年7月8日(火) 場所:キラリエ草津 6階大会議室 参加者数:59名	【継続】<予算額:50千円> ・事業者の環境意識の向上と地域の環境課題の解決を図ることを目的として、先進的な取り組みを進めておられる事業所の事例紹介や企業活動における環境問題への取組についての話題提供に関するセミナー等を開催します。 ▶主催:草津市、草津商工会議所環境保全対策委員会 日時:令和8年10月23日(金) 場所:キラリエ草津 【継続】<予算額:5,723千円> ・環境にやさしい週間(7月初旬)に合わせ、主に草津市民・団体等を対象に環境保全に関する話題提供や実践例を紹介する講演会を実施します。 ▶日時:令和8年7月2日(木) 場所:キラリエ草津 6階大会議室
【再掲】 ③産学官金連携による新たな価値の創出	産学官金連携に関する情報発信を行うとともに、事業者の抱える課題やニーズと教育研究機関の有する研究シーズのマッチング支援を行います。	○	○	◎	○			【再掲】 【継続】<予算額:7,843千円><実績額:7,367千円> ・立命館大学とくさつビズサポに配置するコーディネータや滋賀銀行等の関係機関と連携した訪問活動等を通じて、市内事業者のニーズに応じた事業者間のビジネスマッチング支援に取り組みました。 ▶延べ活動件数:556件/事業者間マッチング対応件数:53件/成立件数2件(令和6年度:559件/56件/17件)	【再掲】 【継続】<予算額:7,947千円> ・立命館大学とくさつビズサポに配置するコーディネータや滋賀銀行等の関係機関と連携した訪問活動等を通じて、市内事業者のニーズに応じた事業者間のビジネスマッチング支援に取り組みます。

施策：2 観光地域づくりを通じた地域の魅力向上

<施策2の成果>

着地型観光ツアーの造成や自転車を活用したイベント開催による体験型コンテンツを通じた地域資源の魅力発信の行った。また、湖南4市での連携事業を通じて広域的な誘客を促進し、スケールメリットを活かした観光振興につなげることができた。

<施策2の課題>

令和9年に滋賀県で予定されているデスティネーションキャンペーンを契機として、今後、継続的に観光入込客数を増加させるため、本市の魅力や観光資源、地域特産品等の情報発信を強化する必要がある。

主な取組事例	概要	実施主体					スケジュール		令和7年度の実績	令和8年度の実績
		産業振興団体	金融機関	教育研究機関	市		計画前期	計画後期		
④地域資源を活用したまちの賑わい創出	観光事業者や観光物産協会などの関係団体と連携し、地域資源の発掘や磨き上げを行うとともに、観光の振興に寄与する事業や催し等の活動を支援します。	◎			○				【継続】<予算額:1,500千円><実績額:1,484千円> ―一般社団法人草津市観光物産協会と連携して、市内文化財・観光素材を含んだツアーや草津市ボランティアガイド同行による草津ならではの体験、観光素材を含めたツアーの実施や周知を図りました。 ・着地型観光ツアーの参加者を募集するにあたり、ツアーや体験システムなどを24時間受付可能なWEB予約システムを活用して予約手続きを簡略化しました。 「草津ハイキング」 ▶開催日:令和7年4月16日(水)・4月27日(日)・5月14日(水)・6月18日(水) 令和7年10月10日(金)・10月22日(水)・10月26日(日)・11月12日(水) 令和8年1月12日(月)・2月7日(土)・3月28日(土) 参加者数(合計):308人 「藤を巡る四社と日本遺産ツアー」 ▶開催日:令和7年5月3日(土)、4日(日) 参加者数:85人 「謎解き×サイクリング」 ▶開催日:令和7年10月1日(水)～1月12日(月) 参加者数:975人 【継続】<予算額:1,200千円><実績額:1,200千円> ・琵琶湖の絶景や地元のグルメ等を味わう「びわこ・おうみグルメライドin草津」といったサイクリストの誘客、地域資源の再発見、地域経済の活性化を目的としたイベントを開催し、観光振興を図りました。また、マルシェやクルーズイベントを同日開催し、することでさらなる波及を促しました。 ▶開催日:令和7年11月8日(土) 参加者数:123人(令和6年度:191人) 内容:近江大橋と琵琶湖大橋の2つの橋を渡る約45kmのコース ※びわびちの日:11月3日(月) びわびち週間:11月3日(月)～11月9日(日) 【新規】<予算額:4,750千円> ・立命館大学、市内ホテル、草津市立プール、滋賀トヨタアリーナ、キラリエ草津などの大型施設を活用し、MICEの積極的な誘致を図ることで、MICE参加者の経済消費活動を促進し、市内産業の活性化、観光振興に繋がりました。 ▶コンベンション等開催補助金 交付決定者数:3件 ▶エクスカーション等実施補助金 交付決定者数:4件	【継続】<予算額:2,500千円> ―引き続き、一般社団法人草津市観光物産協会と連携して、市内文化財・観光素材を含んだツアーや草津市ボランティアガイド同行による草津ならではの体験、観光素材を含めたツアーの実施や周知を図ります。 ・着地型観光を募集するにあたり、ツアーや体験システムなどを24時間受付可能なWEB予約システムを活用して予約手続きを簡略化します。 「草津ハイキング」 ▶開催日:未定 【継続】<予算額:1,200千円> ・琵琶湖の絶景や地元のグルメ等を味わう「琵琶湖グルメライドin草津」に加えて、サイクリストだけでなくえるなどといったさらなるびわびち推進に関する取組を通して、観光振興を図ります。 ▶開催日:令和8年10月31日(土) 内容:烏丸半島～長命寺港～琵琶湖大橋を跨ぐ約66kmのコース(予定) 【新規】<予算額:7,200千円> ・立命館大学、市内ホテル、草津市立プール、滋賀トヨタアリーナ、キラリエ草津などの大型施設を活用し、MICEの積極的な誘致を図ることで、MICE参加者の経済消費活動を促進し、市内産業の活性化、観光振興に繋がります。 ▶コンベンション等開催補助金 交付決定者数:1者(令和8年8月時点) ▶エクスカーション等実施補助金 交付決定者数:0者(令和8年8月時点) ▶大規模イベント誘致補助金 交付決定者数:1者(令和8年8月時点)
⑤広域連携による観光の推進	近隣自治体やびわこビジターズビューロー等の関係団体と連携し、広域的な観光振興を推進します。	◎			◎				【継続】<予算額:373千円><実績額:373千円> ・湖南地域観光振興協議会と連携して、映画とのコラボ企画等を実施するとともに、スイーツなど特定素材のプロモーションを実施するなど、湖南4市のスケールメリットを活かした誘客等を図りました。 「びわこなん リアル謎解きラリー」 ▶開催日:令和8年1月10日(土)～3月31日(火) 参加者数:2,272人(令和6年度:1,679人) 内容:湖南4市の各市に散りばめられたスポットを巡りながら謎を解いていくもの。 【継続】<予算額:141千円><実績額:141千円> ・びわこビジターズビューローと連携して、観光キャンペーンの実施や観光パンフレットの発行などを行うことで、広域的な観光振興を推進しました。 ・滋賀・びわ湖マルシェ～戦国ディスカバー～ 中部日本ビルディング(愛知県名古屋市)にて開催 開催日程:令和8年1月20日(火) ・滋賀の観光パンフレット「シガリスムトリップ」 季刊発行	【継続】<予算額:373千円> ・湖南地域観光振興協議会と連携して、映画とのコラボ企画等を実施するとともに、スイーツなど特定素材のプロモーションを実施するなど、湖南4市のスケールメリットを活かした誘客等を図っていきます。 【継続】<予算額:145千円> ・びわこビジターズビューローと連携して、観光キャンペーンの実施や観光パンフレットの発行などを行うことで、広域的な観光振興を推進します。また、コンベンション部会へも入会し、MICE誘致事業に取り組みます。 ・シガリスム～観光物産展～ 金山総合駅連絡橋イベント広場(愛知 名古屋)にて開催予定 ・滋賀の観光パンフレット「シガリスムトリップ」 季刊発行予定 ・地方都市コンベンション協議会合同ワークショップ(東京)(年3回予定) 【新規】<予算額:15,810千円> ・JRグループ6社と自治体等が協働で全国から誘客を図る大型観光キャンペーンであるデスティネーションキャンペーンが滋賀県において、令和9年秋(10月～12月)に開催されることから、観光誘客の取組を進めます。 「全国宣伝販売促進会議」 全国の旅行会社を滋賀県に招き、プレゼンテーションや体験、モデルツアーを通じて、旅行商品の造成・販売に繋げる。 ▶開催日:令和8年11月4日(水)、5日(木)、6日(金)
⑥デジタルマーケティングを活用した観光の推進	デジタルツールを活用したデジタルマーケティングにより、データの収集・分析を行いながら効果的な観光事業を推進します。	◎		○	○				【継続】<予算額:1,750千円><実績額:1,750千円> ―一般社団法人草津市観光物産協会と連携して、観光DX伴走支援を実施し、人流データ分析内容の情報を公開と専門的な知見を活かした観光DX戦略を地域の事業者を対象に実施しました。 ▶開催日:令和7年11月21日(金)・28日(金)・12月5日(金) 参加者数:23名 ―一般社団法人草津市観光物産協会によるSNSにおいて市内観光情報を発信しました。 ・年間PV:361,285	【継続】<予算額:1,750千円> ―一般社団法人草津市観光物産協会と連携して、地域の事業者を対象にデジタルマーケティング分野で活躍できるセミナーなどを開催し、店舗情報の効果的な発信を図ることで、地域の観光経営力の向上を図ります。 ―一般社団法人草津市観光物産協会におけるSNS発信に係るターゲットニングや、発信内容・方法等のマーケティングをコンサルに委託し、ユーザの消費喚起に向けた戦略的な投稿の制作を行います。

施策：3 地域特性を生かした産業の活性化

<施策3の成果>

市内商工団体等のイベント支援を通じて賑わいを創出することで、まちなかの活性化とコミュニティ形成等による持続可能な産業基盤の構築につなげることができた。

<施策3の課題>

地域の賑わい創出として、ウォークابل区域に出店を希望される事業者に対して、利活用できる支援の周知啓発を図る必要がある。

主な取組事例	概要	実施主体			スケジュール		令和7年度の取組実績	令和8年度の取組
		産業振興団体	金融機関	教育研究機関	市	計画前期	計画後期	
⑦商工団体の活動支援	商工会議所等の地域経済団体による活動や講演会、講座など商工業の発展に資する取組を支援します。	○	○		◎		【継続】<予算額:11,995千円><実績額:11,818千円> ・草津商工会議所をはじめ、市内商工団体等が実施する地域商工業の発展に資する活動・イベント等に対する支援を行いました。(以下、主な補助事業) ・草津商工会議所(講演会、産官学連携事業等) ・草津市商店街連盟(宿場まつり連携事業、クリスマスイベント等) ・みなくさまつり実行委員会(南草津駅周辺における賑わい創出・地域振興)	【継続】<予算額:11,898千円> ・草津商工会議所をはじめ、市内商工団体等が実施する地域商工業の発展に資する活動・イベント等に対する支援を行います。(以下、主な補助事業) ・草津商工会議所(講演会、産官学連携事業等) ・草津市商店街連盟(宿場まつり連携事業、クリスマスイベント等) ・みなくさまつり実行委員会(南草津駅周辺における賑わい創出・地域振興)
⑧空き店舗を活用した店舗誘致	空き店舗の増加を防止し、魅力的な店舗を誘致することにより、まちなかの賑わいを創出します。	◎			○		【継続】<予算額:1,000千円><実績額:0千円> 草津まちづくり株式会社と連携しながら取組を進めましたが、空き店舗と出店希望者の具体的なマッチングにつながらず、制度の申請がなかったことから補助には至りませんでした。 ・補助金交付者数:0者(令和6年度:1者)	【継続】<予算額:1,000千円> 魅力店舗誘致事業補助金として、都市再生整備計画(草津駅周辺エリア未来ビジョン地区)に定める滞在快適性等向上区域(ウォークابل区域)の空き店舗に出店しようとする事業者を支援(空き店舗改修経費の一部補助)することで、地域の賑わい創出と空き店舗の利活用を促進します。
【重点取組】【再掲】 ⑨企業オフィス等の立地適地の創出	ICT企業等をはじめとした企業オフィス等の立地適地の創出に向けた調査検討を行います。				◎		【再掲】 【継続】 ・市街化調整区域における地区計画制度の見直しや農業用ため池の活用など、新たな産業用地の創出に向けた検討を進めるとともに、「草津市産業用地創出に向けた具体的な取組」を取りまとめました。 【継続】 ・新産業の創出に向けたイノベーション集積拠点の創出を目指し、施設の必要機能や事業採算性、実現可能性を検討するため、「事業化検討パートナー」を選定しました。	【再掲】 【継続】(予算額:5,291千円)(債務負担行為:8,700千円) ・高付加価値を生み出す産業集積エリアの形成に向けて、御倉町外地先において整備計画の検討や地権者アンケートを実施するとともに、農業振興地域整備計画との調整や地域未来投資促進法に基づく市基本計画の策定可能性を検討します。 【継続】 ・イノベーション集積拠点の創出に向けて、事業化検討パートナーとの検討を継続するとともに、立地適正化計画との整合を図りながら整備方針を策定します。また、起業家育成プログラムや地域企業との共創、実証実験への支援などを通じて、スタートアップの集積に向けた機運醸成に取り組めます。